

小論文試験は、異なるテーマを扱う複数の文章をもとに、読解能力、要約能力、論理的思考力、表現力を備えているかどうかを試すことを目的としている。資料では、多数決（1人1票制）というシステム自体が抱える問題点や、AIを駆使した偏向的な情報提供およびそれによる有権者の投票行動の操作という問題点が論じられているが、まずはそれぞれの内容を的確に理解しているかどうかを試される。そのうえで、具体的な事例を要約的に整理・表現することができるか（問1）、ある概念の本質を理解できるか、それを他の事例に適用して説明することができるか（問2）、複数のテーマを総合的に把握し、自らの考えを、それに対する客観的な批判も踏まえて論理的に展開することができるか（問3）を、それぞれ評価している。